



ふじあざみ

発行
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所
富士宮市三園平1100
電話0544(27)5221
<http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>



夜間に行われる桜えび漁（由比町役場産業観光課提供）

さくら りょうう するがわん しづかんめい 桜えび漁～駿河湾がくれた自然の恵み～

由比町の気候は温暖で、海と山の豊かな自然に恵まれています。このため、漁業・農業が繁栄し、これらの関連産業とともに発展してきました。特に漁業において日本では駿河湾でしか獲れない体長4~5cmの桜えびが有名で、町の特産品となっており、桜えびの水揚げ高は日本一として知られています。由比漁港は、桜えび漁の基地として町に大きな貢献をしています。

桜えび漁

桜えび漁は113年前、明治27年にちょっとした偶然から始まりました。当時、アジ漁をしていた漁師の網の浮き樽がはずれて網が深くしづんでしまい、それを引き上げると大量の桜えびが入っていたのです。これが最初の桜えびの水揚げでした。この偶然によって桜えび漁が発展し由比の名物になってきたのです。

かつては一年中漁を行っていたようす

が、現在では春漁(3月下旬~6月上旬)と秋漁(10月下旬~12月下旬)の2回に制限しています。桜えびは夜に深海より上ってくるため、深夜の漁となります。

由比漁港

由比漁港は、昭和16年船溜まり施設の着工を手始めに建設が始まり、昭和18年に基礎が作られ、数次にわたる整備計画により進められてきました。そして、昭和38年の東名高速道路建設時に現在の形となりました。

しかし、施設機能の低下と漁船の大型化に伴い、昭和63年より現在の漁港の沖合に405mの防波堤を建設して外港とする工事（由比港整備事業）が進められています。



す。新漁港は平成23年に完成の予定で進められています。町は新漁港完成により漁船の収容数の増加が見込める他、船の陸揚げを行う必要もなくなります。

由比漁港での水揚げの数量と金額は、平成18年で2,183トン、36億6,700万円、そのうち桜えびは1,379トン、33億4,500万円となっており、数量で63%以上、金額では90%以上を占めています。



由比漁港

由比の基礎知識

由比・薩埵地区 風景のうつりかわり

由比町には旧東海道の町並み、宿場の面影など歴史・文化を感じる風景が残っています。そして、薩埵峠は広重の描いた景色がそのまま残っている場所です。

しかし、時代とともに移りかわってきた風景もあります。失われた過去の風景、そして新しく生まれた現在の風景、どちらも由比・薩埵の歴史の中の1枚ですが、その代表的なものを紹介します。

変わらぬ風景

薩埵峠から富士山を望む風景は、江戸時代の浮世絵師歌川広重の『東海道五十三次』の『由比〔薩埵嶺〕』で描かれたものが有名です。薩埵峠は現在もその広重の描いた風景（眼前に富士山、そして眼下には駿河湾を一望できる素晴らしい風景）が残されている東海道唯一の地です。

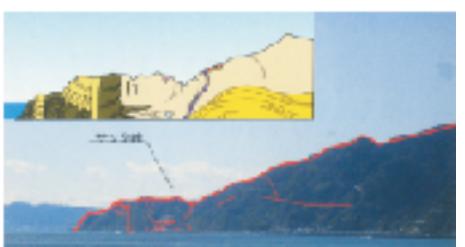


広重の『由比〔薩埵嶺〕』(東海道広重美術館 提供)



薩埵峠からの富士山

由比の浜から見た観音菩薩の寝姿



国道1号(蒲原)からみた「寝観音」

薩埵峠は、昔から由比の浜から眺めると、連なる山々が観音菩薩が仰向けに寝た姿に見えることから「寝観音」と言わせてきました。今でも、国道1号を富士川から静岡に向かって走ると、由比町の手前の蒲原町のあたりからその姿を望むことが出来ます。

失われた昔の風景



(由比町史)

【松並木】

かつては東海道沿いの村々の境には松並木が植えられていました。今はなき東海道の5つの松並木は由比松原の松並木・スイの松並木・今宿の松並木・寺尾の松並木・東倉沢の松並木です。



【由比の名物 さざえとあわび】

さざえの壺焼きとあわびは、間の宿倉沢の名物でした。この名物目当てに多くの旅人が訪れたようです。



(由比町史)

【海水浴場】

海岸が埋め立てられる前は海水浴場がありました。



【潮浜 塩田】

かつて由比は製塩が盛んで、浜一面に塩焼の藻塩の煙が立ちのぼっていました。

新しく生れた現在の風景

【東名高速】

昭和36年(1961)に発生した寺尾地すべりの対策工事の排土で海岸を埋め立て、東名高速道路が建設されました。



【興津の埠頭】

興津の海岸は海水浴場として有名でしたが、清水港拡張のため海岸埋立てが行われ、埠頭などが建設されました。



【清見寺門前のJR】

東海道線の建設に伴い、清見寺の参道を横切って線路がつくられました。



【由比漁港】

昭和50年(1975)に現在の港が完成しました。現在沖合に405mの防波堤を建設して外港とする工事が進められ、平成23年(2011)に完成の予定です。



富士山に 暑さす 富士山がぐれた溶岩洞穴「風穴・氷穴」

富士山麓には、「風穴・氷穴」と呼ばれる溶岩風穴が多数見られます。その数は80数洞が確認され、長さ10mほどの小さなものも含めると、ゆうに100を超えるといわれています。

さて、これらの溶岩洞穴はどのようにしてつくられたのでしょうか。

富士山頂の噴火口や側火山から噴出した溶岩は、裾野に向かって流下し、長い帯状になります。この時、地表に触れた下部や空気に触れた上部は少しづつ冷えて固まっています。しかし、内部は高温で液状、つまりシュークリームのような構造になっています。そして、さらに流下していくとする先端部や側部では殻を破って中身が流れ出し、その後に空洞が残されるのです。

このようにして作られた溶岩洞穴の分布は、静岡県側、山梨県側にそれぞれ約半数ずつと均衡がとれているのも不思議です。

富岳風穴 鳴沢氷穴

溶岩洞穴の代表的なものが、山梨県青木ヶ原にあります。富岳風穴と鳴沢氷穴で、真夏でも氷が見られることから、観光地としても有名で、訪れる人が絶えません。

富岳風穴と鳴沢氷穴は今からおよそ



富岳風穴 (山梨県富士河口湖町)

1143年前の貞觀6年（864）の大噴火による青木ヶ原溶岩流により造られた洞穴です。昭和4年に文部省の天然記念物の指定をうけてから世界的に紹介され、地質学上貴重な存在となっています。

溶岩洞穴の中で、一年中結氷しているのが氷穴で、静岡県側は十里木氷穴ただひとつで、残りは山梨県側青木ヶ原溶岩流の中にあります。



鳴沢氷穴 (山梨県鳴沢村)

富士山に 寄せる想い

第10回富士山学習発表会が開催される —平成20年2月2日(土)～4日(月)—

第10回富士山学習発表会が、富士宮市教育委員会・富士山学習研究委員会主催により、富士宮市民文化会館において開催されました。



富士山学習は、「富士山のことをもっと知りたい」という子どもたちの願いから出発しました。平成9年度からは、「知りたい・学びたい・共に生きたい」をテーマに富士宮市内の全小中学校を取り組み、着実に成果を上げています。

この間、「総合的な学習の時間」の先行的な取り組みとして、全国から注目されてきました。

平成10年度より「富士山学習発表会」を開催し、広く、市民・保護者にその成果を伝え、広めています。

今回は、記念すべき10回目を迎え、
①10周年記念フォーラム(2月2日)
②ステージ発表(2月2日)
③展示発表(2月2日～2月4日)
の形式で行われました。

10周年記念フォーラムでは、「これからの富士山学習の在り方を考える」をテーマに、基調講演・パネルディスカッションが行

われました。

ステージ発表は、井之頭小学校・大富士中学校・富士根北小学校栗倉分校・富士宮第三中学校が行いました。各校とも、テーマについて、精一杯の工夫をして、身振り手振りなど全身で表現しようと、伝えようとする姿に会場の人々は感動していました。

展示会場では、市内29校が、富士山を素材に、独自の視点から学習してきたことを展示発表しました。

さらに、10周年を記念した「10年を振り返る特別展示コーナー」が設けられ、写真やDVDの映像などに足を止め、見入る姿があり、感心の高さを感じました。



富士山学習発表会のお問い合わせ先
富士宮市教育委員会学校教育課
〒418-8601
富士宮市弓沢町150番地
TEL (0544) 22-1185

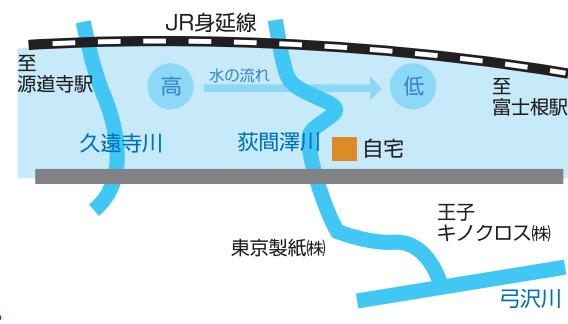
災害 体験談

昭和54年の弓沢川増水により、久遠寺川が氾濫ん。



昭和54年10月、台風20号の集中豪雨により、富士山南西麓の野渕から、土砂が流出し、富士宮市の弓沢川が増水し、下流域に大きな被害を与えました。その時弓沢川支流、久遠寺川の氾濫んで被災した富士宮市小泉の野村様に体験談を語ってもらいました。

「当日は大雨により、久遠寺川が氾濫ん。さらに、家の裏の荻間澤川も氾濫んし、当り一面水没状態になりました。私の家内が職場からかけつけたとき、家の周囲はすでに70～80cmの水かさとなり、家内は「水流のすごさに家が流されるのではないかと大変な恐さを感じました。又家に近づこうとしても足が取られ、流されそうになりオタオタしていました。もしかして流され死んでいたかもしれない」と言っていました。水は土砂、材木、生木など様々なものを巻き込みながら流れてきており、水が引いたあとの家の中、周囲は本当にひどい状態でした。トラック13台分の土砂等が出、正常に住める様になる迄丸1ヶ月もかかり、その間周囲の人々に大変助けられました。本当に感謝しております。2度と体験したくない恐い思い出です。」



お知らせ

富士山総合学習及び現地見学会等結果報告（1月1日～2月29日）

案内日	内容	見学者	人数
1月20日(日)	出前講師	富士山エコレンジャー	20
2月6日(水)	概要説明と扇状地見学	静岡県西部地域防災局	4
2月13日(水)	出前講師	宮本区高齢者	25



中学生の部 最優秀賞

小林瑞穂

大富士中学校（富士宮市）

高校生・成人的部 最優秀賞

宇佐美住江

富士宮市

※手紙部門最優秀作品については富士砂防事務所ホームページをご覧下さい。

「第12回 富士山への手紙・絵コンクール」表彰式

2月2日(土)、富士宮市、富士宮市教育委員会、富士砂防事務所が主催する「第12回 富士山手紙・絵コンクール」表彰式が、富士宮市民会館で開催されました。

コンクールは、国内外より多くの方々から応募いただいており、今年は手紙部門と絵部門をあわせて10,216点の応募がありました。表彰式では、手紙部門・絵部門それぞれの受賞者に、表彰状が送られました。

また、表彰式に引き続いて、富士宮市内の小中学校による「富士山学習発表会」も行われました。



絵部門最優秀作品



幼児の部 最優秀賞
石川ひかる
リーチェル幼稚園（富士宮市）

小学生高学年の部 最優秀賞
保科空吾
富士根南小学校（富士宮市）



小学生低学年の部 最優秀賞
鈴木美香
黒田小学校（富士宮市）

「富士砂防事務所インフォメーション」 ～FMラジオにて情報発信中～ **Radio-f 84.4fm Radio-f(ラジオ-エフ)**



～富士山の基礎知識、富士砂防事務所が開催するイベント情報、防災情報等～
コミュニティFM「Radio-f」(84.4MHz) 毎週水曜日 17:40頃から5分間
「富士山について、こんな話を聞きたい」といったリクエストやお便りを募集しています。
宛先など詳しい情報はラジオfホームページ(www.radio-f.jp)より、「富士砂防事務所インフォメーション」係までお願いします。

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

富士山に関する古い写真・資料等をお持ちの方、また災害体験された方の情報の提供をお願いいたします。

■国土交通省 富士砂防事務所

インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100

担当／総務課長・小川、または調査課長・石原まで

TEL.0544-27-5221

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基にしています。

今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。

私が担当しています



用 地 課 鶴 飼 竜也

由比地すべり対策事業で用地を担当しています。

由比町は国道、東名高速、JR東海道本線という日本の重要な交通が集中している場所です。

この交通網を守るために地すべり対策事業の大切さを感じています。

皆様の安心・安全を守るために少しでもお役に立ちたいと思います。

※本誌は再生紙と環境にやさしいインクを使用しています。